

理 由 書

大磯町は、北には高麗山、鷹取山などの緑溢れる丘陵が、南には小湊の浜や照ヶ崎海岸などの紺碧の海が広がり、市街地には旧東海道松並木や旧吉田茂邸などの名所旧跡が存在するなど、自然や歴史・文化的な資源を今なお多く有しています。

大磯町の都市マスタープランである「まちづくり基本計画」では、歴史的価値のある建造物等については、保存と活用に向けた支援や取組みの展開を図るとしており、また、当該地を含む「小湊海岸松林地区」を重点地区に設定し、海岸線松林の維持・保全や歴史的建造物の保存・活用などに重点的に取り組むとしています。

当該地は、初代内閣総理大臣である伊藤博文の本邸（滄浪閣）を中心に、明治期の総理大臣経験者の大隈重信や外務大臣経験者の陸奥宗光らが所有していた建物の一部や庭園が現存し、隣接する「小湊海岸松林特別緑地保全地区」とともに良好な環境を形成しております。このように、大磯町における邸園文化を象徴するのみならず、明治期の立憲政治確立等に関する歴史的遺産が集まる全国的にも希有な場となっています。

そこで、これらの歴史的建物や庭園とその周辺の緑地を一体的に保存するため、今回、8・4・1号明治記念大磯邸園を特殊公園（歴史公園）として大磯都市計画公園に追加するものです。